

# 教員不足元凶は県教委 人事政策を転換せよ！

10月6日、定例議会一問一答の質問戦に臨んだ。今回のテーマは①教員不足の原因を明らかにし解決の展望を示す。②県立高校の時間講師の年休や夏期休暇を保障する。③新しい知的障害特別支援学校設置に生徒・保護者の声反映の3点。

## 4月新学期から 先生520人不足

●定数法で先生の人数は決まっている。しかし、高知県教委はその定数の充足率がこの5年、全国最下位！小学校は全国平均101.1%を3.7%も下回る97.4%の充足率しかありません。

そのため、本来正規教員で担うべき担任などの職に4月当初から520人もの臨時教員が就く異常な事態が例年続く。定数内臨時教員を従前より200人も多く配置し始めた頃から、病休など本来臨時教員で補うべき時等の臨時教員が足りなくなり、




## 他県の4倍160人 現場教員引き抜く

●さらに県教委は、現場から教壇教員を教育委員会事務局に指導主事として召し上げる。その比率は3%で全国1位、人数は160名。四国の他県は40人台であるのに、余りにも多すぎである。

臨時教員がいなくて学習ができないとか、慢性的に教員不足でいつも不安定な現場状況は、全て県教委の政策の帰結だと言える！

●時間講師の年休、夏期休暇が取れない状況を指摘し、改善への検討を約束させました。

●高知市内の特別支援学校は一校も寄宿舍がなく、必要なことを寄宿舍の持つ教育的意義も伝え、新しい知的障害特別支援学校への寄宿舍設を求めました。入学試験はせず希望者が定員を超えた場合、市町村教委と協議するとしました。寄宿舍設置はこれからも力を合わせます。



**オウリン**  
にゃんでも通信

日本教育学会、教育改革を目指す検討委員会委員長乾先生のお話をぜひお聞きください。

**先生増やそう**


日時 10月24日(土)  
午後2時

会場 高知城ホール

講師 乾 彰夫さん  
(東京都立大学名誉教授  
(主催 子どもと教育を守る高知県連絡会))

菅政権に代わる「野党連合政権」を作る全国遊説第一弾！

さあ、未来を語ろう  
お誘いあわせご来場を！



**田村智子**  
副委員長

●本日18日(日)午後2時  
中央公園北口

総選挙勝利をめざす  
全国遊説イン高知